

きんぎょがにげた

作／五味太郎(福音館書店) 演出プラン／早川百合子 脚色・演出／柴崎喜彦
美術／若林由美子 音楽／吉川安志 照明／阿部千賀子



さがすことのたのしさ 演出プラン 早川百合子

「きんぎょがにげた!どこへにげた?」きんぎょがいろんな所にかくれんぼ。これがとってもまぎらわしい。だけど、言葉が話せない赤ちゃんだってわかって。指さして、目まぐるしく、きゃっきやと笑う声がきこえてきます。もちろん探すのはおかあさんといっしょ。おやこで「きんぎょさがし」です。

きれいで、わかりやすい色彩の原作。主役のきんぎょが舞台をびちょびちょ動き回る姿を想像したら一人でニヤリ。きんぎょ鉢からにげたしたきんぎょは、カーテンの模様にかくれたり、花の中にかくれたり子どもたちの大好きなさがしもの、きっと楽しいことでしょう。

プークの0.1.2歳児のための人形劇は、神沢利子さん原作「あらどこだ」につき2作目となります。「あらどこだ」は、詩集が原作で、豊かな言葉と音楽で織りなす人形劇でした。今回の舞台は二人の役者によるオノマトペ(擬音語)とマイム、最小限のことばと音楽で表現します。音楽は前作同様吉川安志、美術は独特の世界観をもつ若林由美子と組みます。

さがすことの楽しさからお芝居の終わりはほのぼのとした『もう、さびしくないね』をお届けします。

五味太郎さんの絵本で、親しまれている作品「きんぎょがにげた」。どこにいる? あっあんなところに! 身近なところに隠れるきんぎょ。みんなで一緒に探しましょう!

